

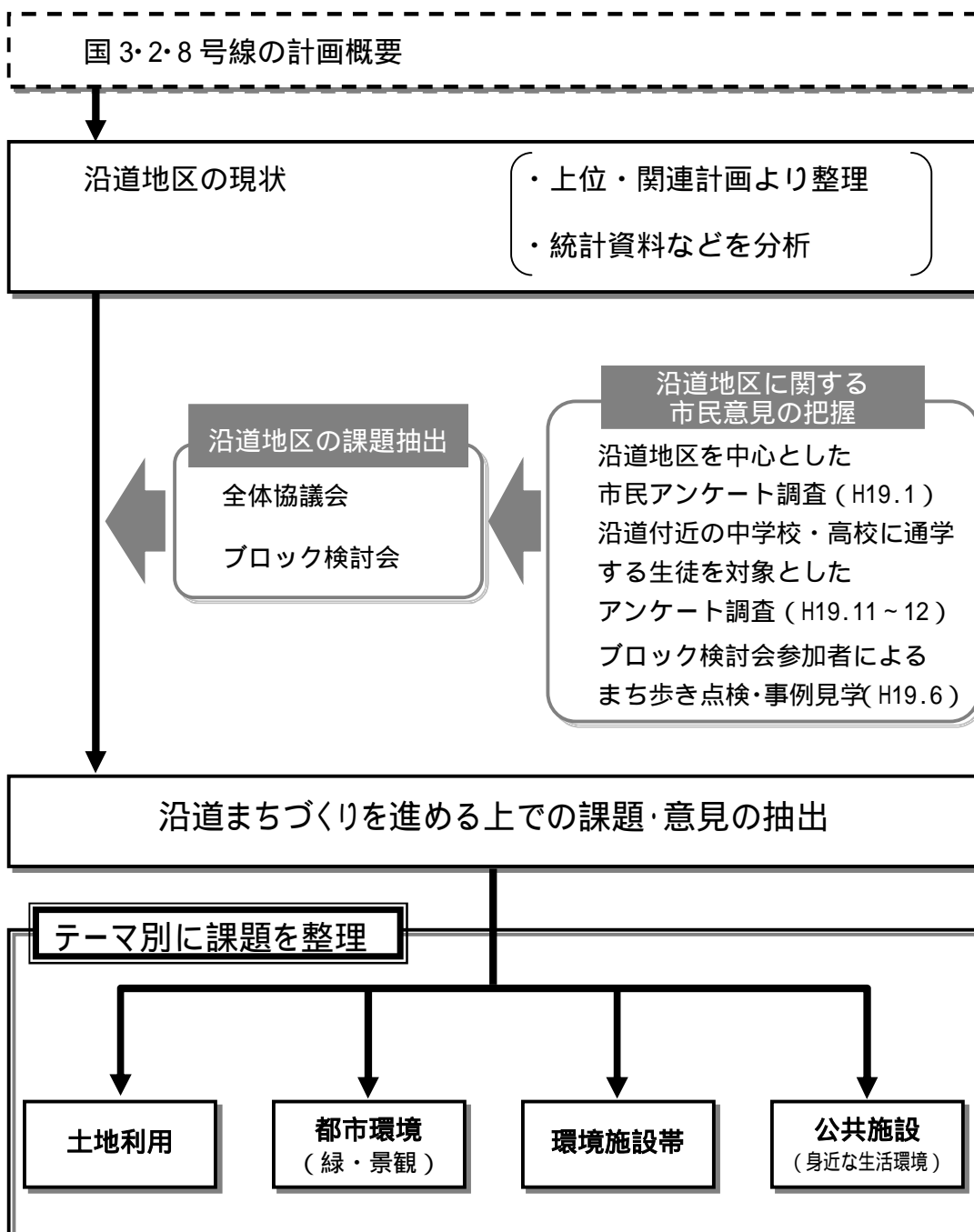
第 1 章

国3・2・8号線沿道地区の現況と課題



1-1. 沿道まちづくりを進める上での課題整理の流れ

沿道地区の現状や、市民や中学生・高校生を対象としたアンケート調査の結果、全体協議会、ブロック検討会から出された意見をもとに、沿道まちづくりを進める上での課題を4つのテーマごとにまとめました。



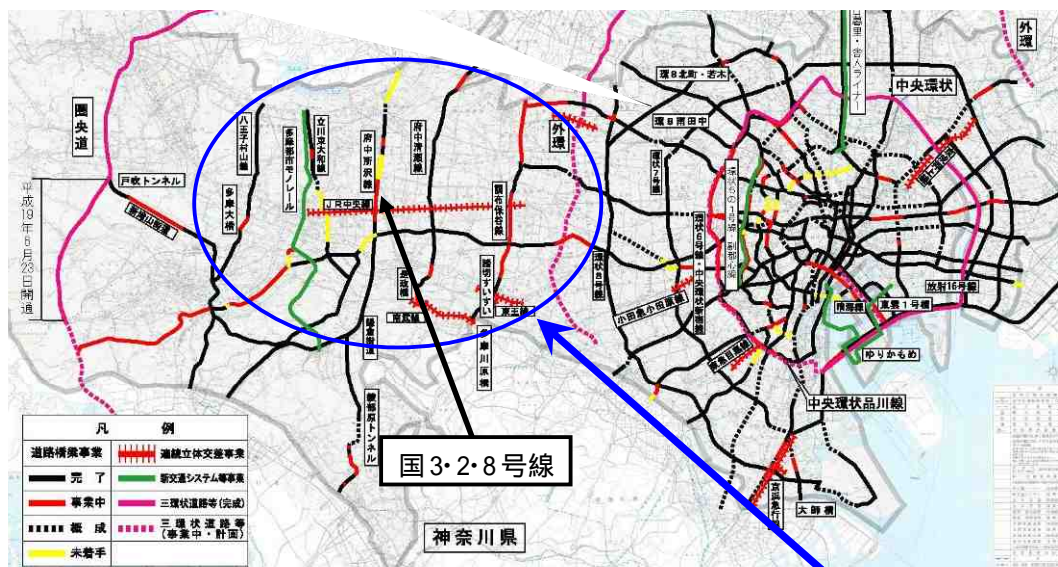
沿道まちづくりの課題整理の流れ

1 - 2 . 国3・2・8号線の概要

東京都の事業である国3・2・8号線の性格や、期待される整備効果、事業概要を以下に示します。

(1) 国3・2・8号線の性格

国3・2・8号線は、多摩地域における南北方向の主要幹線道路の1つです。



東京の道路ネットワーク図（出典：東京都建設局ホームページ）

現状での多摩地域の主要幹線道路は、東西方向に比べ、南北方向の整備が遅れているため、体系的な道路ネットワークが形成されず、慢性的な交通渋滞が発生しています。その緩和のために整備される5路線のうちの1つが国3・2・8号線です。

## (2) 国3・2・8号線に期待される整備効果<sup>1</sup>

多摩地域の主要な南北道路である本路線の整備により、体系的な道路ネットワークの形成が促進され、交通の円滑化や都市間の連携強化が図られます。

緑豊かな環境施設帯の整備により沿道環境が保全されるとともに、快適で安全な歩行空間の形成や都市景観の向上が図られます。

府中街道をはじめ周辺道路の交通渋滞が緩和され、現道の沿道環境が改善されるとともに地域の利便性の向上が図られます。

近隣の小中学校や都立国分寺高校の通学路でもある狭い生活道路に流入する通過交通を本線へ誘導することにより、地域の安全性が向上します。救急医療機関へのアクセスが向上するとともに、緊急車両の円滑な通行や災害時における延焼遮断帯などが確保され、地域の防災性が向上します。

## (3) 国3・2・8号線の事業概要

国3・2・8号線の区間は、府中市武蔵台三丁目（多喜窪通り）を起点として国分寺市東戸倉二丁目（五日市街道）を終点とする延長約2.5km、標準幅員36mの主要幹線道路です。

道路の構造としては、車道幅員16mの両側に10mずつの環境施設帯（歩道・植樹帯等）を設け、沿道環境に配慮した広幅員の道路です。

また、平面構造を基本としていますが、JR中央線との鉄道交差部は、鉄道が掘割形式であることからオーバース<sup>2</sup>で整備します。西武国分寺線との鉄道交差部については、鉄道が地上形式であることからアンダーパス<sup>3</sup>で整備します。整備の具体的なイメージは、次頁のとおりです。



計画位置図

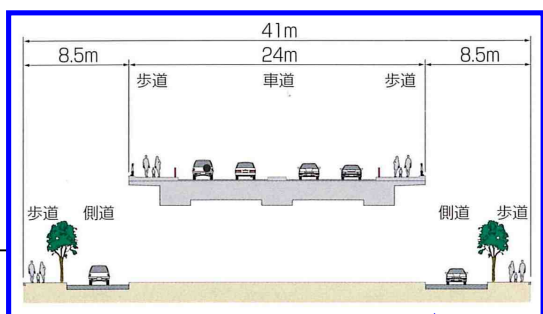
<sup>1</sup>国3・2・8号線に期待される整備効果：出典/東京都建設局 国3・2・8号線事業認可関係資料（平成19年11月）より

<sup>2</sup>オーバース：道路や鉄道の交差部分が高架方式になっている構造

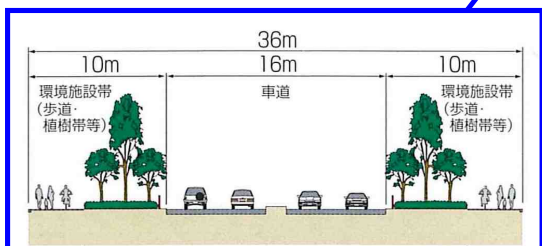
<sup>3</sup>アンダーパス：道路や鉄道の交差部分が地下方式になっている構造

国分寺都市計画道路 3・2・8 号府中所沢線

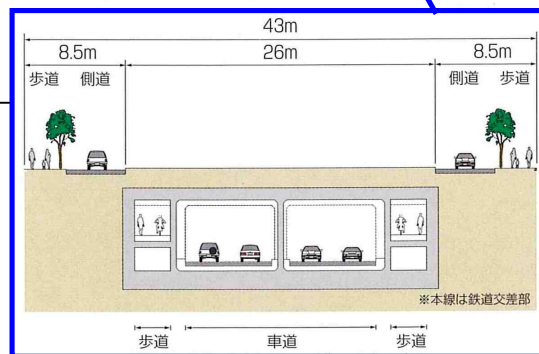
区 間：府中市武蔵台3丁目～国分寺市東戸倉2丁目  
 車 線 数：往復4車線  
 道路幅員：36m（標準部）車道 16m + 環境施設帯 10m × 2  
 （断面イメージは下図参照）  
 整備延長：約 2.5 km  
 事業主体：東京都  
 事業期間：平成 19 年度～平成 27 年度（予定）



オーバースタクション断面イメージ



標準部断面イメージ



アンダーパス部断面イメージ

出典：国分寺都市計画道路 3・2・8 号府中所沢線環境影響評価書(H18.7) 東京都

## 1 - 3 . 沿道地区の現況

### (1) 沿道地区を中心とした地域の現況

国3・2・8号線沿道地区を中心とした地域の現況は、以下のとおりです。

都心へ通勤・通学する住宅都市としての性格

鉄道会社2社4路線と鉄道交通網が整備されており、都心や埼玉、神奈川方面へのアクセスが良く、低層住宅が広く分布している。

農村の構造を引き継いで、脆弱な都市基盤<sup>1</sup>のまま市街化が進行  
農地が宅地化され市街地を形成してきた。

市街化に伴う基盤整備が十分に行われてこなかったため、狭あいな道路や行き止まり道路が多数存在している。

JR・西武線が行き交う多摩地域の交通の要衝

西国分寺駅、恋ヶ窪駅への徒歩圏に位置しており、鉄道の利便性が高い。しかし、道路網の整備は遅れており、慢性的な交通渋滞が生じている。

史跡や農地等により豊かで文化的な市街地環境を形成

「国分寺崖線」「砂川用水」「屋敷林や社寺林」といった国分寺の原風景を構成する自然や地域資源が点在している。また、これらを取り囲むように、都市農地が広がっている。

市民一人あたりの公園面積は少ないが、農地・樹林地などの緑は豊か

国分寺市の緑の構成の特徴として、近隣市と比べ市民1人当たりの公園面積は小さいが、市面積に占める都市農地(市街化区域内農地<sup>2</sup>)の割合が多いため、緑のまちのイメージが定着している。

都市公園等の状況・市街化区域内農地の状況

市町村名	都市公園(1)								都市公園以外の 都区市町村立公園(2)		1人当たり 面積(m <sup>2</sup> ) (1+2)/人 口	市街化区 域内農地 の面積 (ha)	市街化区 域内農地 面積割合 (%)
	総数		区市町村立公園		都立公園		国営公園		数	面積(m <sup>2</sup> )			
	数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )	数	面積(m <sup>2</sup> )					
立川市	91	1536258.62	90	544483.81		32774.81	1	959000.00	133	49107.01	9.08	277.8	13.4
府中市	238	1701991.44	234	1226146.06	4	475845.38			122	91455.40	7.27	171.0	6.3
小金井市	10	751603.39	9	56379.00	1	695224.39			119	49489.00	6.94	90.5	8.0
小平市	271	482023.93	269	321364.00	2	160659.93					2.63	239.7	11.7
国分寺市	13	201967.06	11	72004.21	2	129962.85			135	74344.47	2.33	171.9	15.0
国立市	25	141893.36	25	141893.36					59	47702.28	2.61	72.6	9.2

出典: 多摩地域データブック(多摩地域主要統計表) - 平成19年版 - (2008.3)

注: 原則として1つの公園が複数の市町村にまたがる場合、公園の数は、面積の占める割合の大きい方の市町村に計上し、面積は、各市町村ごとに計上している。

<sup>1</sup>都市基盤: 道路、河川、上下水道、公園など、都市の産業や生活の基盤となる公共施設のこと。

<sup>2</sup>市街化区域内農地: 都市計画法で市街化を図るべき地域に指定された市街化区域内にある農地のこと。宅地化する農地と保全する農地(生産緑地)に区分される。

## (2) 沿道地区の現状のテーマ別整理

沿道地区の現状を以下の4つのテーマごとに整理します。

テーマ	沿道地区の現状
土地利用	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況は宅地が約3割と最も多く、次に農地が約2割を占める。</li> <li>・建物は大半を戸建住宅が占め、幹線道路や鉄道付近に集合住宅が数多く分布している。</li> <li>・国分寺市役所周辺には商業施設の分布も見られる。</li> </ul> <p>用途地域<sup>1</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域については、第一種低層住居専用地域が約8割を占める。</li> </ul>
都市環境 (緑・景観)	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺市役所周辺地区を除き、比較的緑が豊かな地区であり、緑のうち生産緑地<sup>2</sup>が大部分を占めている。</li> <li>・国分寺らしい原風景として五日市街道及び内藤神社周辺には、屋敷林や樹林地が分布している。</li> </ul> <p>生産緑地の分布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道地区内には生産緑地が全体で28地区あり、そのうち12地区が国3・2・8号線にかかる。</li> </ul> <p>史跡・文化財の分布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡、文化財は埋蔵文化財が5ヶ所分布(うち2ヶ所が国3・2・8号線にかかる)。</li> </ul>
環境施設帯 (国3・2・8号線)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路延長約2.5km(府中市武蔵台3丁目～国分寺市東戸倉2丁目)のうち、標準区間は約1.7kmであり、環境施設帯は道路幅員36mのうち20mを占める。</li> <li>・オーバース(高架)区間は約450m(前後擁壁区間(190m)含む)で、JR中央本線(内藤一・二丁目～日吉町一丁目)を横断する。</li> <li>・アンダーパス区間は約330m(前後掘割区間(265m)含む)で、西武鉄道国分寺線(戸倉一・二丁目周辺)を横断する。</li> </ul>
公共施設 (身近な生活環境)	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道地区の東西方向の骨格軸として、五日市街道・戸倉通り・市役所通り・国3・4・6号線、内藤橋街道、多喜窪通りの6路線が供用。</li> <li>・宅地周りの生活道路は概ね幅員が4mを確保しているが、国3・2・8号線に斜めに横断している。農地内には幅員4m未満の市道が多い。</li> <li>・国3・2・8号線に交差する既存の市道は約50路線。</li> </ul> <p>公共施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道地区周辺には、市役所周辺地区を中心に教育・児童・福祉施設が複数立地。病院は、多喜窪通り南側に複数立地。</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道地区内の学区は、第四・五・六・九小学校区及び第一・四・五中学校区。</li> </ul>

<sup>1</sup>用途地域：市街地における適正な土地利用を図るため、建築物の用途などに関し、一定の制限をかける制度

<sup>2</sup>生産緑地：農林漁業と調和した良好な都市環境の形成を目的として、一団の面積が500㎡以上の市街化区域内農地を保全するために市町村が都市計画で定める地区。指定から30年間の営農義務を条件に税法上の優遇とあわせて一定の建築行為等の制限を受ける農地。

(3) 5ブロックのテーマ別現状の整理

これまで整理した内容をより詳細に把握するため、沿道地区の地形地物により以下の5つのブロックに区分し、現状を整理しました。

	内藤地区	日吉町一丁目地区	日吉町四丁目地区	国分寺市役所周辺地区	東戸倉地区
地区の概要 テーマ	概要: JR中央線から多喜窪通りまでの集合住宅や低層住宅が主体のエリア 町丁目: 内藤一、二丁目	概要: 小学校を含み、国3・4・6号線からJR中央線までの農地の宅地化が進む農住混在エリア 町丁目: 日吉町一、四丁目 西恋ヶ窪三丁目	概要: 市役所通りから国3・4・6号線までの農地と低層住宅が主体のエリア 町丁目: 日吉町三、四丁目 西恋ヶ窪四丁目	概要: 西武国分寺線から市役所通りまでの低層住宅が主体となったエリア 町丁目: 戸倉一、二、四丁目	概要: 市境から西武国分寺線までの農地利用が主体のエリア 町丁目: 東戸倉二丁目、並木町一丁目 北町一丁目
国3・2・8号線(環境施設帯)の概要					
土地利用	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区の大半は住宅地。そのうち北部には、社宅を含む集合住宅が多数立地</li> <li>多喜窪通り沿いには、住商併用の建物が多数立地</li> </ul> <p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね、第一種低層住居専用地域</li> <li>近隣商業地域(多喜窪通り沿い)</li> </ul>	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区北部には農地がまとまって分布</li> <li>戸建て住宅が中心であるが、南部には比較的大規模な集合住宅も複数点在</li> </ul> <p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね、第一種低層住居専用地域</li> <li>第一種中高層住居専用地域・第二種中高層住居専用地域(第五小学校)</li> <li>第二種中高層住居専用地域(国3・4・6号線沿い)</li> </ul>	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部はほとんどが農地として利用</li> <li>東部は市役所通り、国3・4・6号線沿道部より宅地化が進行し、戸建住宅や小規模の集合住宅が密集</li> <li>市役所通り沿いは商業型施設が集積</li> </ul> <p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね、第一種低層住居専用地域</li> <li>近隣商業地域(市役所通り沿い)</li> <li>第二種中高層住居専用地域(市役所通り・国3・4・6号線沿い)</li> </ul>	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部は住宅地が密集</li> <li>東部には、市役所や農水省施設といった公益施設が立地</li> <li>市役所通り沿いは商業型施設が集積</li> </ul> <p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一種低層住居専用地域(主に西部)</li> <li>第二種中高層住居専用地域(主に東部)</li> <li>第二種住居地域(公共施設周辺)</li> <li>近隣商業地域(市役所通り沿い)</li> </ul>	<p>土地利用及び建物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどが農地利用で生産緑地が多数まとまって分布</li> <li>五日市街道沿いには集合住宅が立地しているが、他は戸建住宅が主</li> </ul> <p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね、第一種低層住居専用地域</li> <li>第二種中高層住居専用地域(五日市街道・戸倉通り沿い)</li> </ul>
都市環境(緑・景観)	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地が少なく、宅地化が進んでいるエリア</li> <li>地区北部に1ヶ所、屋敷林・樹林地が存在</li> </ul> <p>生産緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4地区のうち、1地区が国3・2・8号線にかかる</li> </ul> <p>史跡・文化財の分布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区に1箇所分布、また国分寺崖線が近接</li> </ul>	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地が多く、生産緑地としての緑が多いエリア</li> <li>地区南部に2ヶ所、屋敷林・樹林地が存在</li> </ul> <p>生産緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5地区のうち、2地区が国3・2・8号線にかかる</li> </ul> <p>史跡・文化財の分布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区に1箇所分布、計画道路に1箇所かかる</li> </ul>	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地が多く、生産緑地としての緑が多いエリア</li> <li>内藤神社の社寺林やまとまった屋敷林が分布</li> </ul> <p>生産緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10地区のうち、6地区が国3・2・8号線にかかる</li> </ul> <p>史跡・文化財の分布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区に1箇所分布</li> </ul>	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地が少なく、宅地化が進んでいるエリア</li> </ul> <p>生産緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4地区の生産緑地が地区西側に集中して点在</li> <li>4地区のうち、1地区が国3・2・8号線にかかる</li> </ul>	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地が多く、生産緑地としての緑が多いエリア</li> <li>五日市街道沿いには、砂川用水、屋敷林・樹林地が分布</li> </ul> <p>生産緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比較的まとまった形で生産緑地が5地区分布</li> <li>5地区のうち、2地区が国3・2・8号線にかかる</li> </ul>
公共施設等	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路は、奈良橋通りと多喜窪通り</li> <li>宅地内の道路は幅員4m以上であるが、農地内には幅員4m未満の市道が多い</li> <li>国3・2・8号線に交差する市道は約9路線</li> </ul> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区内に、小規模な公園等が2ヶ所</li> <li>2ヶ所のうち1ヶ所が計画道路にかかる</li> </ul> <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区の南側には病院が複数立地</li> <li>地区の西側に内藤地域センターが立地</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第五小、第四中学校区</li> </ul>	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路は、国3・4・6号線と内藤橋街道の2路線</li> <li>国3・2・8号線に交差する市道は約9路線</li> </ul> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区内には小規模な公園等が4ヶ所</li> </ul> <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部に第五小学校が立地</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第五小、第一中学校区</li> </ul>	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路は、市役所通りと国3・4・6号線の2路線。市役所通りはバスの運行経路としても利用</li> <li>国3・4・7号線が計画(未着手)</li> <li>地区西部には幅員4m未満の生活道路が複数存在</li> <li>計画道路に交差する市道は約8路線</li> </ul> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区東部に公園が1ヶ所、また、地区周辺には西恋ヶ窪緑地がある</li> </ul> <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郵便局が市役所通り沿いに立地</li> <li>地区の西側には福祉施設が立地</li> <li>地区の東側に恋ヶ窪公民館が立地</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第五・第九小、第一中学校区</li> </ul>	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路は、市役所通り1路線のみ。バスの運行経路としても利用</li> <li>生活道路は比較的密に整備されているが、行止り道路も複数存在</li> <li>国3・2・8号線に交差する市道約14路線</li> </ul> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部には、小規模な公園等が4ヶ所</li> </ul> <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部(地区周辺含む)には、幼稚園・保育園が複数立地。スポーツ施設もあり</li> <li>東部には市役所、周辺には恋ヶ窪駅がある。</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第六・第九・第十小、第一・第五中学校区</li> </ul>	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線道路は、五日市街道・戸倉通りの2路線。戸倉通りはバスの運行経路として利用</li> <li>戸倉通り以北の生活道路として、幅員4m未満が複数存在</li> <li>国3・2・8号線に交差する市道は約6路線</li> </ul> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区西部に公園が1ヶ所</li> <li>地区東部の周辺に窪東公園がある</li> </ul> <p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分布していない</li> </ul> <p>学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第六小、第一・第五中学校区</li> </ul>



1 - 4 . 沿道まちづくりに関する市民意見の把握

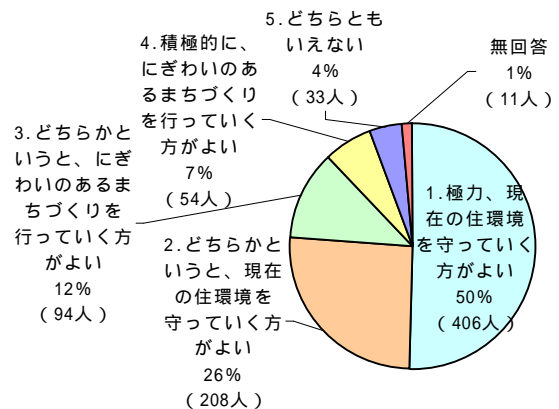
(1) 市民アンケート結果について

沿道地区にお住まいの方を中心として、沿道まちづくりに関する意見や将来イメージの把握を目的として実施しました。  
 実施時期：平成19年1月15日～1月31日  
 配布数：約4,700枚（うち沿道地区内：約2,200枚）  
 回収数/回収率：806枚/約17%（沿道地区のみ約31%）

(主な調査項目の結果概要)

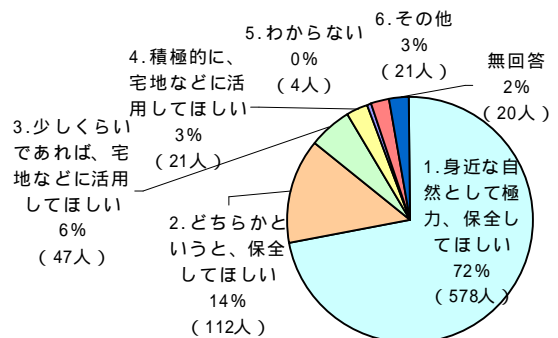
まちづくりの方向性

現状の住環境を守りたいという意見が多く寄せられました。



身近な緑のあり方

現在ある緑については、道路整備を行うにあたっては極力保全してほしいという意見が多く寄せられました。



沿道まちづくりで配慮すべきこと

「通学路の安全」「防犯」「緑を守る」「災害時の対応」など、まちの安全性や身近な自然（住環境）を守ることが特に高い値を示しました。

緑の保全や防犯・災害時対策など、安心・安全のまちづくりに加え、沿道地区の活性化やコミュニティの形成についても高い関心がありました。



## (2) 次世代アンケート結果について

沿道まちづくり計画には、多様な立場からの視点とともに、長期的な展望が必要であることから、次世代を担う若者の意見を把握することを目的に実施しました。

実施時期：平成19年11月12日～12月14日

配布数：約1,520枚

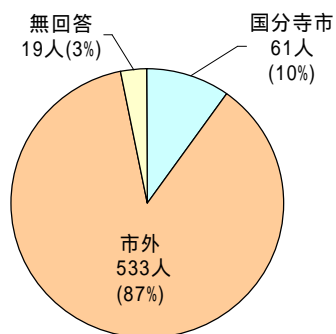
回収数/回収率：1,427枚(国分寺高校：608枚、第一中学校：360枚、第四中学校：214枚、第五中学校：245枚 計819枚) / 約94%

### (主な調査項目の結果概要)

#### アンケート回答者の居住地

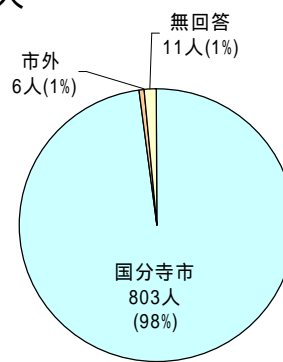
高校生(国分寺高校1,2年生)

計613人



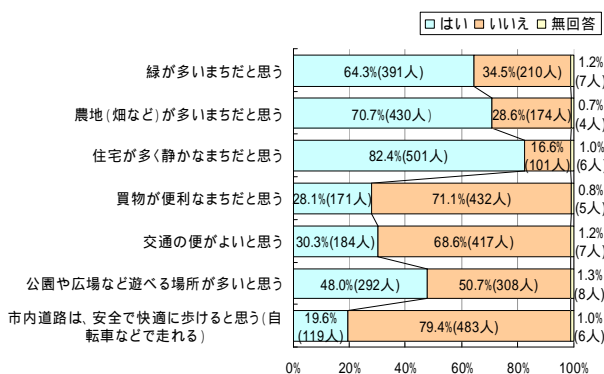
中学生(市立第一、四、五中学校1,2年生)

計820人

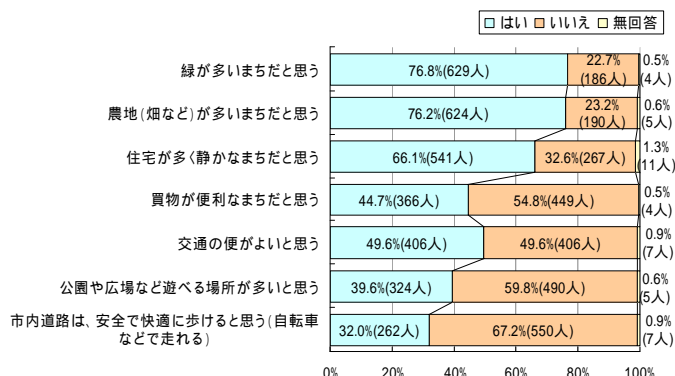


#### 国分寺のまちのイメージ

緑や農地が多く、閑静な住宅地とのイメージを持っていました。その一方で、市内道路の安全性に対する不安も共通して高くなっています。また、市外在住者の多い高校生のほうが、市内在住者の多い中学生に比べ、買い物や交通の利便性が低いと感じていることがわかりました。



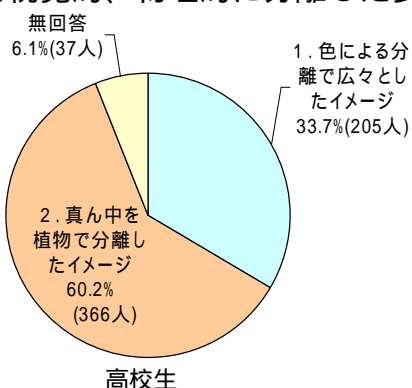
高校生回答結果



中学生回答結果

### のぞましい歩行者と自転車の分離イメージ

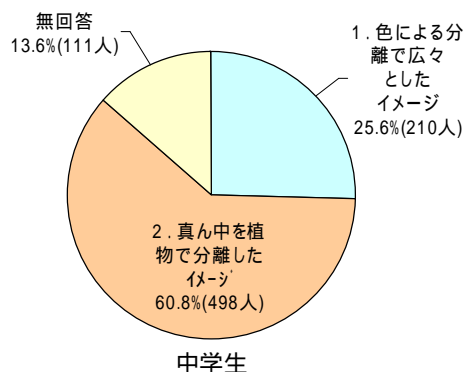
中高生は自転車を主な移動手段としていると考えられることから、歩行者と自転車を視覚的、物理的に分離した歩道の整備イメージが多く選ばれました。



高校生



1. 色による分離で広々としたイメージ



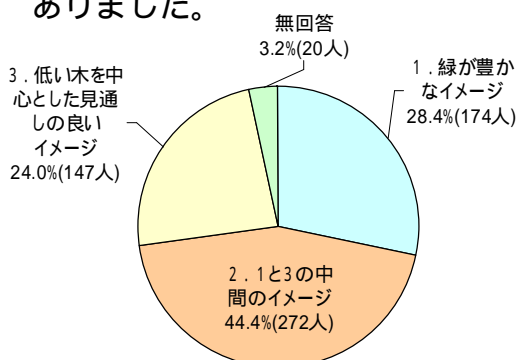
中学生



2. 真ん中を植物で分離したイメージ

### のぞましい歩道のみどりのイメージ

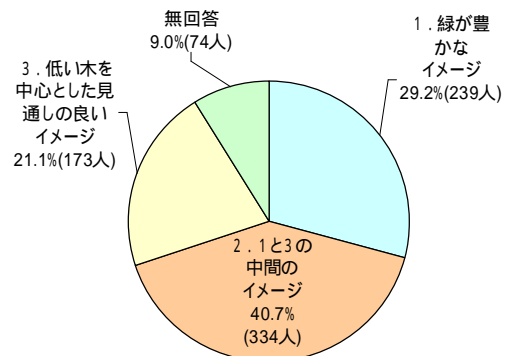
不審者に対する不安などの意見も寄せられ、見通しの確保や街灯設置の要望もありました。



高校生



1. 緑が豊かなイメージ



中学生



2. 1と3の中間のイメージ



3. 低い木を中心とした見通しの良いイメージ

### (3) まち歩き点検調査結果について

国3・2・8号線が整備される現地を実際に歩き、まちの良い点や悪い点、沿道のまちづくりを考える上で配慮すべき点などを確認することを目的に実施しました。

実施時期： 平成19年6月30日（土）

場 所： 国分寺市役所周辺 他

参加者： ブロック検討会メンバー、一般参加者 計19名

#### (開催風景)



#### (開催結果)

まち歩きで出された主な意見は以下のとおりです。

国3・4・6号線の交差点など、交通量が増えそうな箇所がイメージできた。

市民の現在の生活動線を確保してほしい。

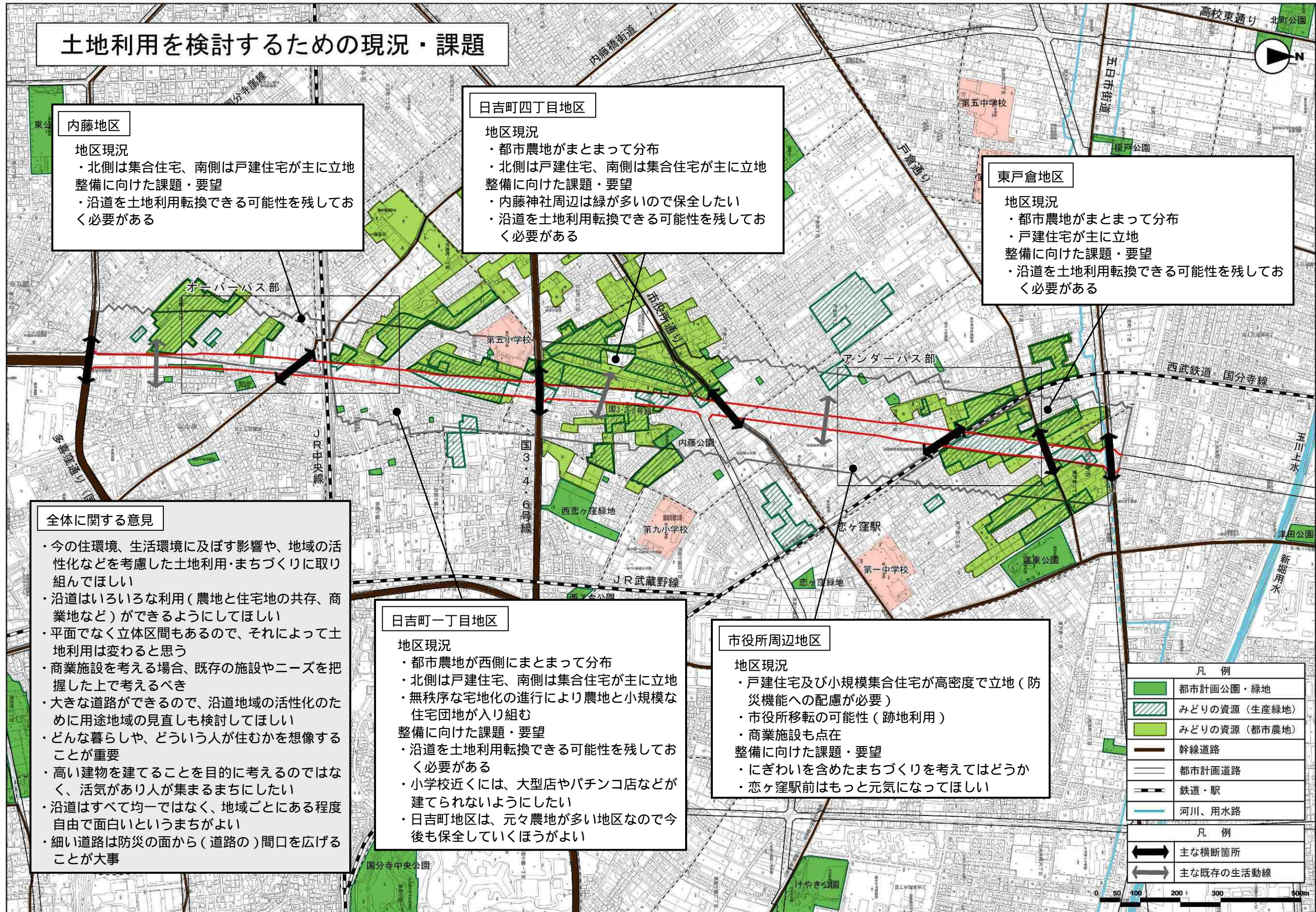
緑豊かなまちであるので、大型店の林立は避けたい。

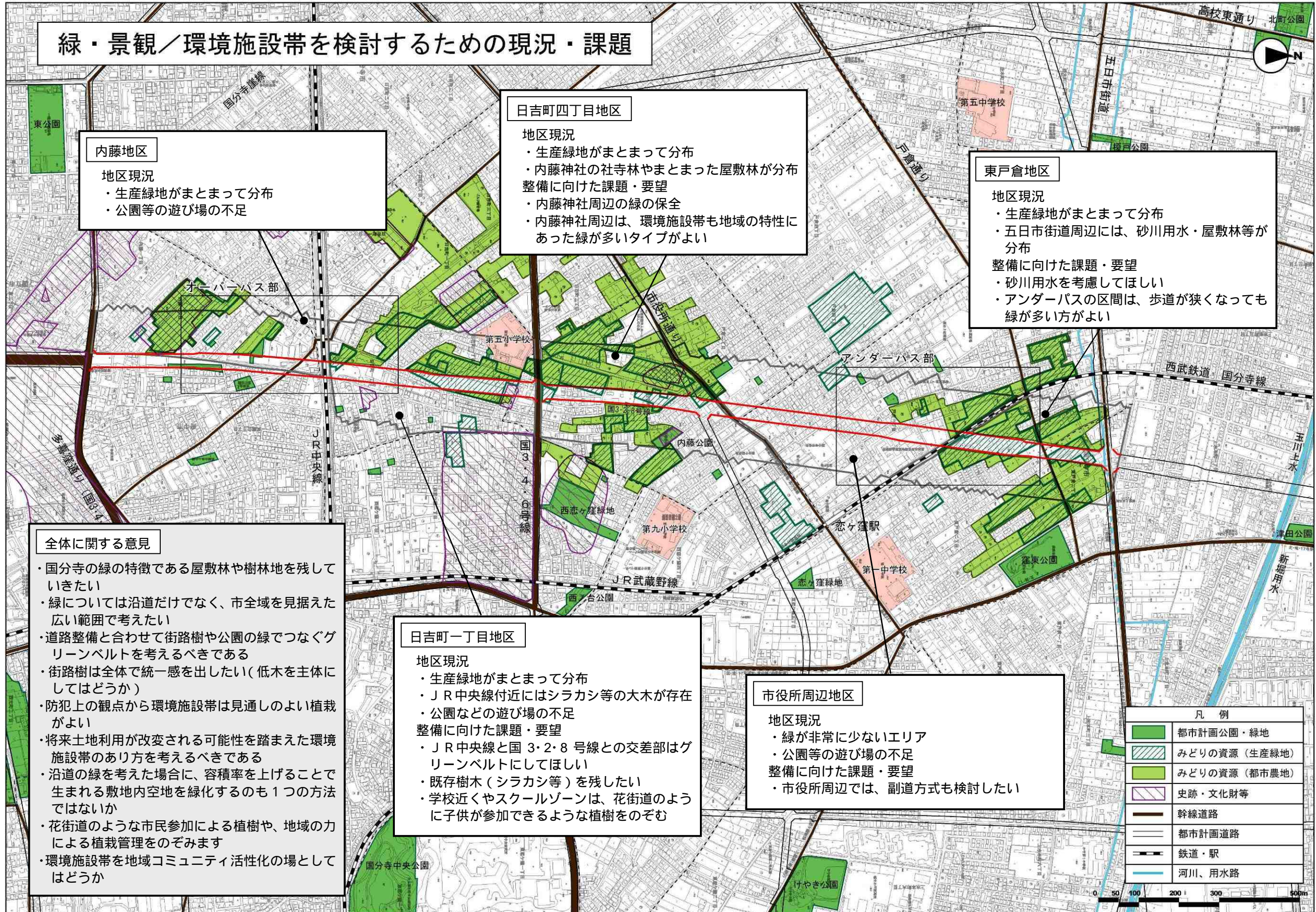
歩道のあり方（歩行者と自転車）などを今後議論したい。

内藤神社付近は、緑が多いので環境を保全したい。

1 - 5 . 協議会などにおける沿道地区の課題・意見の抽出

これまでの沿道地区の現状把握や、市民に関するアンケート調査の結果を踏まえ、協議会・ブロック検討会で意見交換を行い、「土地利用」「緑・景観/環境施設帯」「公共施設(身近な生活環境)」に関して各ブロックの課題を以下のように整理しました。





緑・景観／環境施設帯を検討するための現況・課題

**内藤地区**  
 地区現況  
 ・生産緑地がまとまって分布  
 ・公園等の遊び場の不足

**日吉町四丁目地区**  
 地区現況  
 ・生産緑地がまとまって分布  
 ・内藤神社の社寺林やまとまった屋敷林が分布  
 整備に向けた課題・要望  
 ・内藤神社周辺の緑の保全  
 ・内藤神社周辺は、環境施設帯も地域の特性にあった緑が多いタイプがよい

**東戸倉地区**  
 地区現況  
 ・生産緑地がまとまって分布  
 ・五日市街道周辺には、砂川用水・屋敷林等が分布  
 整備に向けた課題・要望  
 ・砂川用水を考慮してほしい  
 ・アンダーパスの区間は、歩道が狭くなくても緑が多い方がよい

**全体に関する意見**  
 ・国分寺の緑の特徴である屋敷林や樹林地を残していきたい  
 ・緑については沿道だけでなく、市全域を見据えた広い範囲で考えたい  
 ・道路整備と合わせて街路樹や公園の緑でつなぐグリーンベルトを考えるべきである  
 ・街路樹は全体で統一感を出したい(低木を主体にしてはどうか)  
 ・防犯上の観点から環境施設帯は見通しのよい植栽がよい  
 ・将来土地利用が改変される可能性を踏まえた環境施設帯のあり方を考えるべきである  
 ・沿道の緑を考えた場合に、容積率を上げることで生まれる敷地内空地を緑化するのも1つの方法ではないか  
 ・花街道のような市民参加による植樹や、地域の力による植栽管理をのぞみます  
 ・環境施設帯を地域コミュニティ活性化の場としてはどうか

**日吉町一丁目地区**  
 地区現況  
 ・生産緑地がまとまって分布  
 ・JR中央線付近にはシラカシ等の大木が存在  
 ・公園などの遊び場の不足  
 整備に向けた課題・要望  
 ・JR中央線と国3・2・8号線との交差部はグリーンベルトにしてほしい  
 ・既存樹木(シラカシ等)を残したい  
 ・学校近くやスクールゾーンは、花街道のように子供が参加できるような植樹をのぞむ

**市役所周辺地区**  
 地区現況  
 ・緑が非常に少ないエリア  
 ・公園等の遊び場の不足  
 整備に向けた課題・要望  
 ・市役所周辺では、副道方式も検討したい

凡例	
	都市計画公園・緑地
	みどりの資源(生産緑地)
	みどりの資源(都市農地)
	史跡・文化財等
	幹線道路
	都市計画道路
	鉄道・駅
	河川、用水路

# 公共施設（身近な生活環境）を検討するための現況・課題

## 内藤地区

### 地区現況

- ・人と車のすれちがいトラブルが多い（多喜窪通り～JR中央線間）
- ・行き止まり道路の改善
- ・公共交通網の整備
- ・防犯対策が必要

### 整備に向けた課題・要望

- ・西国分寺駅へのアクセス向上（東西の生活動線への配慮）
- ・第四小学校の通学路についても配慮してほしい

## 日吉町四丁目地区

### 地区現況

- ・防犯対策が必要
- 整備に向けた課題・要望
- ・東西方向のアクセスへの配慮が必要

## 東戸倉地区

### 地区現況

- ・恋ヶ窪駅及び市役所へのアクセス向上
- ・五日市街道の渋滞緩和、交通安全対策
- ・戸倉通りの交通安全対策

### 整備に向けた課題・要望

- ・今後、交通量の増加が見込まれることから交通安全対策上の配慮が必要（五日市街道、戸倉通り）
- ・戸倉通りは通学路になっているので安全性を考えたい
- ・東西方向のアクセスへの配慮が必要

## 全体に関する意見

- ・市民が車を使う際に、今までの生活道路から国3・2・8号線への接続が便利なものとなるようにしていきたい
- ・歩道は見た目優先にならず、弱者の足元に優しいつくりしてほしい
- ・沿道の農地への車両の出入りに配慮した道路整備を行ってほしい
- ・緊急物資等を運搬できるネットワーク形成を実現すべき
- ・交通アクセスがよくなることにより、犯罪を誘発しないようにしてほしい
- ・災害時に国3・2・8号線を活かせるような道路のアクセスを確保できるようにすべき
- ・生活動線やコミュニティを踏まえ横断施設の設置箇所を検討してほしい

## 日吉町一丁目地区

### 地区現況

- ・国3・4・6号線の歩道が狭い
- ・生活道路が抜け道として利用されており、すれちがいのトラブルも多い
- ・防犯対策が必要

### 整備に向けた課題・要望

- ・西国分寺駅へのアクセス向上（東西の生活動線への配慮）
- ・第五小学校の教育環境への配慮、通学路の安全確保（歩道が狭い）
- ・生活道路を抜け道に使われないようにしてほしい

## 市役所周辺地区

### 地区現況

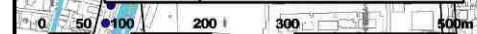
- ・市役所通りは、歩道が狭く、自転車が走りにくい
- ・五日市街道の渋滞緩和、交通安全対策
- ・戸倉通りの交通安全対策

### 整備に向けた課題・要望

- ・市役所通りに右折レーンをつける必要があるのではないかと
- ・従来の生活道路を裏道として使わずに済むような道路整備をしてほしい
- ・東西方向のアクセスへの配慮が必要
- ・市役所通りは通学路になっているので安全性を考えたい

凡例	
	都市計画公園・緑地
	駅勢圏(1km圏)
	商業施設
	バス路線
	通学路(小学校)
	幹線道路
	都市計画道路
	鉄道・駅
	河川、用水路

凡例	
	主な横断箇所
	主な既存の生活動線



1 - 6 . 沿道まちづくりを進める上での課題・意見のまとめ

左の表に協議会・ブロック検討会での意見を取りまとめ、右の表に課題として整理しました。

**【土地利用を検討するための意見】**

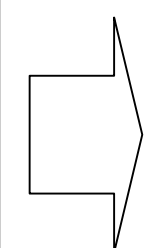
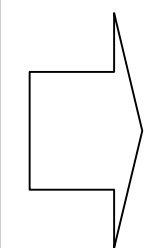
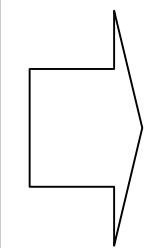
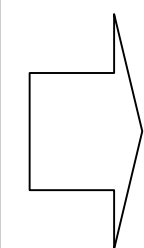
- ・今の住環境、生活環境に及ぼす影響や、地域の活性化などを考慮した土地利用・まちづくりに取り組んでほしい
- ・沿道はいろいろな利用（農地と住宅地の共存、商業地など）ができるようにしてほしい
- ・平面でなく立体区間もあるので、それによって土地利用は変わると思う
- ・商業施設を考える場合、既存の施設やニーズを把握した上で考えるべき
- ・恋ヶ窪駅前をもっと元気になってほしい
- ・大きな道路ができるので、沿道地域の活性化のために用途地域の見直しも検討してほしい
- ・どんな暮らしや、どういう人が住むかを想像することが重要
- ・高い建物を建てることを目的に考えるのではなく、活気があり人が集まるまちにしたい
- ・沿道はすべて均一ではなく、地域ごとにある程度自由で面白いというまちがよい
- ・細い道路は防災の面から（道路の）間口を広げることが大事

**【緑・景観 / 環境施設帯を検討するための意見】**

- ・国分寺の緑の特徴である屋敷林や樹林地を残していきたい
- ・緑については沿道だけでなく、市全域を見据えた広い範囲で考えたい
- ・砂川用水を考慮してほしい
- ・道路整備と合わせて街路樹や公園の緑をつなぐグリーンベルトを考えるべきである
- ・街路樹は全体で統一感を出したい（低木を主体にしてはどうか）
- ・防犯上の観点から環境施設帯は見通しのよい植栽がよい
- ・将来土地利用が改変される可能性を踏まえた環境施設帯のあり方を考えるべきである
- ・沿道の緑を考えた場合に、容積率を上げることで生まれる敷地内空地を緑化するのも1つの方法ではないか
- ・花街道のような市民参加による植樹や、地域の力による植栽管理をのぞみます
- ・市役所周辺では副道方式も検討したい
- ・神社周辺や、既存の緑を保全したい場所は、地域の特性にあわせて環境施設帯を緑の多いタイプにしてほしい
- ・環境施設帯を地域コミュニティ活性化の場としてはどうか

**【公共施設（身近な生活環境）を検討するための意見】**

- ・今までの生活道路から国3・2・8号線への接続が便利なものとなるようにしていきたい
- ・歩道は見た目優先にならず、弱者の足元に優しいつくりにしてほしい
- ・沿道の農地への車両の出入りに配慮した道路整備を行ってほしい
- ・緊急物資等を運搬できるネットワーク形成を実現すべき
- ・交通アクセスがよくなることにより、犯罪を誘発しないようにしてほしい
- ・災害時に国3・2・8号線を活かせるような道路のアクセスを確保できるようにすべき
- ・生活動線やコミュニティを踏まえて、横断施設の設置箇所を検討してほしい
- ・教育環境、子ども達に配慮したまちにしたい
- ・今後、交通量の増加が見込まれることから通学路を中心に安全性を考えてほしい
- ・駅を要衝とした東西の生活動線へのアクセス向上を考えたい



【協議会・ブロック検討会での検討を踏まえて整理した課題】

**【土地利用に関する課題】**

- ✚ 住環境、生活環境に及ぼす影響、地域の活性化などを考慮した土地利用・まちづくり
- ✚ 沿道における多様な土地利用（農地と住宅地の共存、商業地など）の検討
- ✚ 地域ごとに自由で変化のある面白いまちづくり
- ✚ 活気があり人が集まるまちづくり
- ✚ 駅周辺などの既存商店街と連携した沿道地域の活性化

**【都市環境（緑・景観）に関する課題】**

- ✚ 国分寺の緑の特徴である屋敷林、樹林地の活用
- ✚ 砂川用水の利活用の検討
- ✚ 道路整備と合わせて沿道の緑をつなぐグリーンベルトの検討
- ✚ 沿道の地域ごとの特性に配慮した緑化方策
- ✚ 市全域を見据えた緑の検討

**【環境施設帯に関する課題】**

- ✚ 沿道の土地利用を踏まえた環境施設帯のあり方
- ✚ 地域の力（市民参加）で行う植栽管理の取り組み
- ✚ 地域コミュニティの活性化の場としての活用
- ✚ 防犯に配慮した見通しのよい環境施設帯

**【公共施設（身近な生活環境）に関する課題】**

- ✚ 生活道路の交通安全対策
- ✚ 犯罪を誘発しないよう見通しに配慮した緑の検討
- ✚ 生活動線を踏まえた横断施設の設置箇所の検討
- ✚ 国3・2・8号線の防災軸としての活用
- ✚ 子ども達の教育環境に配慮したまちづくり
- ✚ 子ども達の通学の安全や、誰にでも優しい歩道の整備